

平成27年度 第1回福知山環境会議幹事会

日時： 平成27年4月14日(火)
午後6時30分～
場所： 環境パーク2階 研修室

1 あいさつ

2 報告事項

- (1) 感謝状について
- (2) 各プロジェクト活動報告

3 協議事項

- (1) 平成27年度の活動について
 - ①平成27年度の体制について
 - ・事務局体制、会員募集
 - ②リーディングPJ本年度の計画
 - ・実施プロジェクトの選定、プロジェクトリーダーの決定
 - ・環境人育成セミナーについて
 - ・予算配分について
 - ③定期総会について
 - ・開催日の決定(候補日：6/14〔日〕、6/20〔土〕、6/21〔日〕)
 - ・基調講演の内容、講師
- (2) 平成27年度みどりのカーテン実施計画について
 - ・市内各地域公民館での講習会の実施
 - ・市内事業所・団体の参加募集
 - ・市内小中学校への呼びかけ、モデル小学校での講習会実施
 - ・市内幼稚園、保育園の参加募集
 - ・その他公共施設での実施

4 その他

(裏面に続く)

※ 今後の行事について

4月18日(土) 由良川・里山PJ 由良川クリーン作戦

(集合場所：綾部高校東分校)

4月26日(日) 真田幸丸フェスティバル(長野県上田市)

5月2日(祝) ゴーヤ先生のみどりのカーテン講習会(ビバシティ彦根)

5月3日(祝) 福知山こども大会(三段池総合体育館前)

5月5日(祝) ゴーヤ先生のお誕生日会(広小路パーキング)

時間：10時～15時 (雨天決行) ※お手伝いいただける方お願いします。

5月6日(祝) きゃらライブ2 (大阪市立旭区民センター大ホール)

チケット¥2000 好評発売中!

<http://eplus.jp/sys/T1U14P0010843P006001P002154468P0030001>

5月7日～5月30日 みどりのカーテン実施率日本一PJ

各地域公民館 みどりのカーテン講習会(9回)

5月23日(土) 13:00～15:00 (埼玉県志木市 志木市民会館)

ゴーヤ先生と緑のカーテン講習会@カパルのおうち
～カパルのリベンジ2015～

5月24日(日) イオンモール羽生(埼玉県羽生市)

5月30日(土)～31日(日) ご当地キャラクターフェスティバル in すみだ
2015

ゴーヤ先生とムジナもんのみどりのカーテン講習会@イオンモール羽生

5月30日(土) 石田洋介コンサート アイタイ2(東京都墨田区：曳舟文化センター)

次回幹事会開催予定日

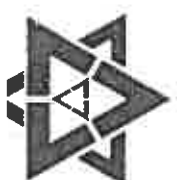
____月 ____日(____)

場所：_____

感謝状

福知山環境会議

代表 田倉徹也 様



貴会は長年にわたり由良川の
環境保全・みどりのカーテンの
普及に取組み「環境基本計画」の
推進に貢献されました
市制施行記念日にあたりその努力と
熱意を称え深く感謝の意を表します

平成二十七年四月一日

福知山市長 松山正治



福知山環境会議 生きもの調査プロジェクト活動報告

活動：三段池ビオトープの生きもの観察および整備

日時；2015年4月11日（土）13：30～15：30

場所：三段池ビオトープ

参加：自然科学協力員会 6名



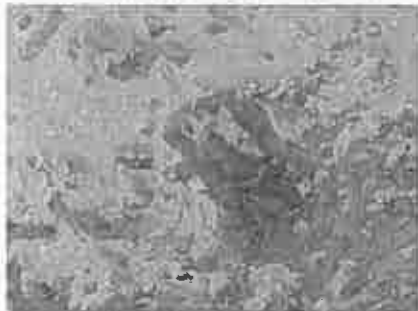
ムラサキサギゴケ



ニホンタンポポ



セイヨウタンポポ



サワガニの赤ちゃん



ホタルトビケラ



フタメカワゲラ



カワトンボ sp



クビナガムシ



水路の修繕



漏水箇所の修繕



樹木の芯止め

「広報PJ 2015年4月度報告」

2015年4月14日 土田真奈見

1. イベント対応報告

① 福知山お城まつり 全国ご当地キャラクター大集合2015

- ・日時：2015年4月4日（土）～4月5日（日）3日間で約3万人の人出
- ・環境会議ボランティアスタッフ

4月4日（土） 18名 4月5日（日） 19名 対応ありがとうございました。



広小路ステージ



舞殿ステージ（エンディング）

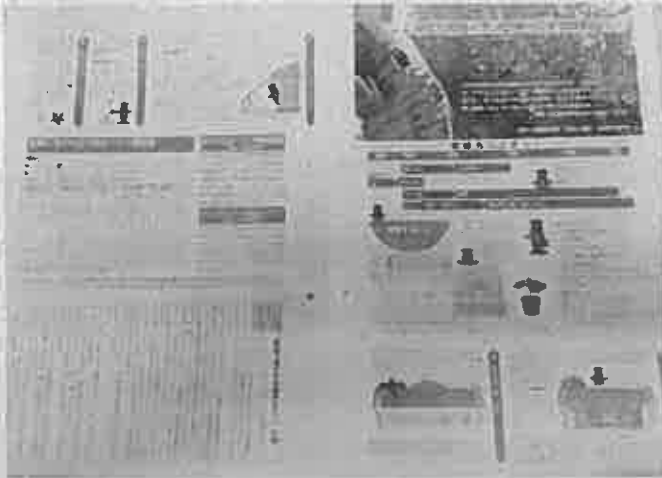
② ジャンボびっくり見本市（会場：インテックス大阪）



ご当地キャラクター協会からの依頼で、工具や消耗品などの見本市でのこどもむけ抽選イベントなどのお手伝いに行っていました。

2. 新聞掲載等

- ① 広報ふくちやま 4月1日号 「みどりのカーテン日本一のまち福知山へ」



- ② 両丹日日新聞 4月2日号 「お城まつりイベント告知・キャラクター紹介」



- ③ 両丹日日新聞 4月3日号 「お城まつり天気にな〜れ (ゴーヤ先生てるてる坊主キャンペーン)」



福知山環境会議 会員名簿

個人会員

No.		電話①	電話②	FAX	幹事	入会
1	立道 邦子	36-0551				
2	青木 里佳	090-4306-9094				
3	宥田 秀樹	24-1326	090-7367-3693			
4	田倉 徹也	22-5854	090-3162-6302	23-5029	○	
5	四方 重美	42-3316				
6	戒野 稔	23-2669				
7	道下 雅昭	22-2484	22-2559		○	
8	山下 須美子	22-5533	23-8136		○	
9	水野 哲司	058-253-7551				
10	今田 順子	090-7369-7953				
11	小林 久子	23-3889				
12	河野 恒州望	090-6600-9791				25.6.23
13	日置 美穂	090-8233-0963				25.7.12
14	荻野 成生	37-0630				26.12.24

団体会員

No.	団体名	担当/代表	電話①	電話②	FAX	幹事	入会
1.	福知山市自然科学協力員会	理事 吉井雅宏	23-4162(自宅)				
		大槻 浩	27-4876	090-7092-7516		○	
		高松 公一	23-6964	090-7100-1558			
2.	緑を育てる会	宮本直樹		090-4762-8532		○	
3.	京都府地球温暖化防止活動推進員福知山連絡会	松尾祥弘	27-3057				
4.	福知山市老人クラブ連合会	塩見 建男	23-4066(自宅)	23-5373	24-5282	○	
5.	福知山商工会議所	事務局長 柳井津佑健	22-2108		23-6530	○	
6.	福知山市連合婦人会	森田愛子	34-0408	080-1520-4863	34-0408	○	
7.	NPO法人由良川流域ネットワーク	声田育美	43-1352(事務局)	33-2887		○	
8.	学校法人成美学園成美大学	中尾 誠二	24-7100			○	
9.	社団法人 福知山青年会議所	衣川 泰広	090-8981-0231	23-2123	24-4336	○	
10.	FAヤマセミの会	大槻 浩	27-4876(自宅)			○	25.10.23

事業者会員

No.	団体名	担当/代表	電話①	電話②	FAX	幹事	入会
1	パナソニック フォト・ライティング株式会社	田村 和久	20-5703		20-5744	○	
2	エスベック株式会社 福知山工場	土田真奈見	27-3131	080-1470-3167	27-6961	○	
3	株式会社衣川組	代表取締役 衣川倫夫	37-1155	090-8981-0231	37-1155		
4	株式会社ヨネダ	池田広樹	22-3022	090-8823-1518	22-3022		
5	福知山バイオマス研究開発事業協同組合	事務局長 山本尚紀	34-1177	22-7502(自宅)	34-1178	○	25.4.19
6	北近畿太陽光発電普及促進協会	理事長 梅谷馨	24-8801				25.7.9

No	1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8	合計
プロジェクト名	福知山の自然体験プロジェクト	由良川・里山プロジェクト	サケの飼育と採捕・放流プロジェクト	生きもの調査プロジェクト	ゴーヤ先生による広報活動プロジェクト	みどりのカーテン実施率日本一プロジェクト	環境人育成セミナープロジェクト	雨水の有効利用プロジェクト	再生可能エネルギー推進運動プロジェクト	福知山グリーン生活情報マップ作成活動プロジェクト	農山村での環境共育プロジェクト	ごみの減量化と生ごみ堆肥化による資源の有効利用プロジェクト	合計
プロジェクトリーダー													
主な事業内容													
必要経費	消耗品費												
	印刷製本費												
	燃料費												
	通信運搬費												
	保険料												
	旅費												
	使用賃借料												
	備品購入費												
	原材料費												
	負担金												
合計													

1 温暖化防止活動推進員養成講座

- 佐賀県(2006年度)
- 山形県(2005～2006年度)
- 富山県(2004～2006年度)
- 京都府(2003～2005年度)
- 奈良県(2000～2002年度)
- 和歌山県(2004年度)
- 岡山県(2004年度)
- 山口県(2004年度)
- 京都府赤松町(2003年度)
- 岡山県瀬山町(2002年度)

2 環境活動リーダー

- 環境教育リーダー養成講座
- 愛知県長久手町(2006年度)
- 愛知県碧南市(2004～2006年度)
- 愛知県田原市(2005～2006年度)
- 兵庫県明石市(2004年度)
- 京都市・京エコジョーセンター(2003～2013年度)
- 京都府赤松町(2003年度)
- 福井県敦賀市(1998～2000年度)ほか

3 環境まちづくりリーダー養成講座

- 大阪府島本町(2007年度)
- 愛知県岡崎市(2004年度)
- 滋賀県大津市(1999年度)ほか

6 その他の連続講座の運営、コーディネート

- 島本町「住民地域環境講座」全10回コーディネート(2008年度)
- 滋賀県津市「環境まちづくり交流会」全4回コーディネート(滋賀事務所 1999年度)
- 京都府京都市「エコシティー連続講座」全7回をコーディネート(1999年度)
- 滋賀県新旭町「住民主体の環境入門講座 環境マイスターをめぐらせ」をコーディネート(2000年度)
- 福井県敦賀市「エコシティ連続講座」(1998,1999,2000年度)
- 大阪府茨木市「エコシティ連続講座」全5回をコーディネート(1997,1998年度)
- 岐阜県多治野市「ワークショップ「地球にやさしい環境講座」全5回をコーディネート
- 大阪府豊中市「ごみ減量・リサイクル連続講座」ワークショップ全5回をコーディネート(1997年度)
- 京都府「クイズで考えるごみ問題」シリーズ2回を委託(1997年度)
- 京都市と市民向け連続講座「私たちの生活と地球温暖化」全12回を共催(1997年度)

4 グリーンコンシューマー・リーダー養成講座

- 秋賀市(2008年度)
- 島根県(2000～2002年度)
- 香川県(2000年度)
- 埼玉県(1999,2000年度)
- 東京都(1999年度)
- 大分県(2000年度)ほか

5 組織マネジメント、ネットワークづくり、テーマ別活動実践手法講座

- 環境NGO・NPOレベルアップ研修(2011～2012年度)
- 環境NGO・NPO活動推進・組織運営講座(2011～2012年度)
- 環境・3R活動推進リーダー養成講座(2009,2012年度)
- 環境NGO・NPO地域ワークショップ(2009年度)
- 環境保全に取り組むNPO・NGO運営講座(2009年度)
- 環境NGO活動発展のための組織運営講座(2007年度～)
- 環境NGO組織マネジメント講座(2003～2006年度)
- 環境保全活動コーディネート養成講座(2003～2006年度)
- 環境NGOと市民の集い(2003～2005年度,2007年度～)
- 環境NGO活動実践手法講座(2001～2002年度)
- 環境NGO活動入門講座(1998～2000年度,2006年度～)

※いずれも独立行政法人環境衛生保全機構(旧:環境事業団)より委託

持続可能な社会を創る

環境市民活動リーダー養成講座 のご案内

「主体的な市民がいらない!」と悩んでいませんか?
まずは本会にご相談ください

「主体的な市民が少ない!」「協働活動の推進役がいらない」「参加する市民に広がりがない」などと悩んでいませんか?

地球温暖化防止、ごみ問題の解決、再生可能エネルギーの推進、生物多様性の保全、環境教育の推進、環境のまちづくり、そして持続可能な社会の実現のために必要とされているのは、総合的で明確なビジョンがあり、自ら活動を創り出す力と、行政・住民・事業者を結びつけるコーディネート力のあるリーダーです。

その知識、技術、力は、日常の活動の中から得られるものもありますが、それだけではなく、それを会得する「機会」が必要で

環境を大切にしたいまちづくり、環境政策、環境市民活動をより発展させるには、「環境活動リーダー」を養成することが必須であり、それは行政の大切な役割です。

持続可能な地域づくりに
求められるリーダー像

- 1 地域環境活動を主体的に創出できるリーダー
- 2 コーディネート能力や合意形成能力を兼ね備えたリーダー
- 3 持続可能な社会の実現に向け、産業界や交通、まちづくりなども含めた総合的な視野を持ったリーダー

この講座で得られる効果

- 知識・技能・姿勢(心構え)の修得で活動の質を高めます
- 住民参画や、地域の環境活動を活発にし、効果の高いものにするには、行政の関わりだけでなく、住民側にも活動リーダー層が不可欠です。
- この講座は、地域環境活動のリーダー層(候補も含む)を対象に、より活動の質を高めるために必要な、知識・技能・姿勢(心構え)の修得を目的としています。
- この講座で、五つの能力を高めます
- 仲間との能力や経験を活かすコーディネート能力
- 会議やグループ運営で、合意形成を得るための能力
- 生活実感や活動実践経験に基づいて環境情報を読み解く力
- 多くの人から共感を得ることができ、企業・提案能力
- 住民だけでなく、事業者や行政との協働の輪を広げることができ

特定非営利活動法人 環境市民 (京都府および京都市控除対象特定非営利活動法人)

〒604-0934
京都市中京区区役所町通二条下る鴨津町225番地
第二ビル405号室
(月～金曜日 午前10:00～午後6:00)

TEL 1075-2111-3521
FAX 1075-2111-3531
E-mail life@kanyoshimin.org

環境市民のウェブサイト <http://www.kanyoshimin.org>



実践経験が活かせる 行動につながる 講座企画・運営における環境市民の学び

環境市民は1992年に設立され、自主的な活動や自治体・事業者とのパートナーシップ活動などをつづけてきた環境NGOです。環境市民は、環境活動リーダー養成講座の企画立案・実施、集約において次の三つの強みを持っています。

1) 豊富な地域活動経験

1992年東京都で発足した環境市民は、エコライフ、ごみ、交通、水、環境教育、まちづくりなど、地域に根ざした活動を実践してきました。そのひとつが全国に先駆けて地域のスーパー、生協の環境対策を調査した「グリーンコンシューマーマーガイド」の作成・出版です。最近では、京都やその周辺の道を実際に走ってその状況を調査、サイクリングコースを提案した「京都自転車マップ」の発行、京都の里山にある独自の環境学習フィールドを活用した環境学習などの様々な実践活動に、ボランティアを中心に取り組んでいます。

2) 全国的な活動、事業者との協働

グリーンコンシューマーマー活動を全国に広めてきました。また、96年発足の「グリーン購入ネットワーク(GPN)」には発足時から参加しています。またGPNの地域組織「京都グリーン購入ネットワーク」の立ち上げに中心的な役割を果たし、2004～2013年度7月まで専務員を担いました。環境のことを考えて買い物をする消費者の選択を促らせる広告・宣伝(グリーン・ウォッシュ)を規制する仕組みづくりにも取り組んでいます。2001～2010年度は全国のNGOとともに「日本の環境首都コンテスト」を実施、その成果を活かして複数の自治体・研究者・NGOと協働で「環境首都創造ネットワーク」を発足させるなど、自治体の環境施策向上、地域から日本を変えようとする活動にも取り組んでいます。

事業者との協働にも積極的に、環境キャンペーンの開催、環境教育教材の作成など多くの実績があります。

3) 実践経験がコーディネートに活かせる

自治体、企業、市民向けの研修、講演会などを多数開催するほか、各地で環境基本計画、ローカルアクション21の策定コーディネート実績を持っています。

市民や事業者など様々な立場の人が参加する計画策定会議のコーディネーターは、NGOの運営と共通するものが多くあります。コーディネーターにとって最も重要な、委員の理解・信頼を得るノウハウも、実践の中から得てきました。このように、チームが多岐にわたる環境基本計画、ローカル・アクション21の策定支援には、これまでの実践経験がおおいに活かされています。

1 地球温暖化防止活動 リーダー養成講座

自然エネルギーの普及、省資源、省エネルギーなど、地球温暖化を目的としたエコライフを普及するリーダー養成講座です。都道府県などが実施する地球温暖化防止活動推進員養成として最速です。

2 環境教育 リーダー養成講座

地域での環境教育を進めようと考えている方に、活動実践者、環境活動リーダーをめざす人々を対象に、環境に関する知識だけでなく、仲間を集め、伝え方などの活動手法も持った環境教育リーダーとなるための基礎から実践までを学べます。

3 グリーンコンシューマーマー リーダー養成講座

グリーンコンシューマーマー活動を地域で広めるリーダーをめざす人々を対象とします。地域版グリーンコンシューマーマーガイドづくりの学習も盛り込めます。

4 ごみ減量 リーダー養成講座

ごみは私たちのライフスタイルを反映しています。ごみの減量は、自治体にとっては大きな課題となっており、削減が、排出量自体の減少は必ずしもできません。ごみ減量の考え方や方法をすすめるリーダー養成講座です。

5 環境活動組織運営講座

効果的な環境活動を行うには、個人的な思いだけでは不十分です。組織的に行うことで活動の効果は大きく異なります。その際に必要な活動企画方法、仲間集め、広報の方法、資金集め、組織のマネジメント法など、すぐに役立つノウハウが修得できます。

6 パートナースhip・ コーディネート養成講座

環境活動は、行政・市民・事業者などがパートナーシップで取り組むことで、大きな力を発揮します。しかし、しっかりとしたビジョンと交渉・合意形成力が求められます。環境活動の効果を高めたいて考える方、いままで乗り越えられなかった壁をお感じの方へ最適です。

7 教員向け環境学習研修

教員は学校教育を中心として、子どもに対する環境教育のエキスパートです。しかし多くの教員は多忙かつあふれる情報に翻弄され、それらを解き解く視点をどうしたら身につけることができるのか、といった悩みも持つおられる。情報活用のスキル、伝え方のノウハウなど、オリジナルの教材を用いながら学びます。

8 環境学習施設運営 ボランティア養成研修

「環境学習施設をつくる」市民が来ない、来ても十分に対応できる人材がいらないという自治体も多いのではないうでしょうか。環境学習施設の効果を高め、同時に環境活動リーダーも育成する、石二島の講座です。

◆ 各講座の特長と内容

(講座の特徴)

各講座は、複数回の連続講座として実施します。受講者には、原則として全回出席を求めます(他県の事情などにより、研修方法や条件には工夫が必要です)。各回、環境問題の包括的理解と私たちの暮らしとの関係、各地の環境市民活動の先進事例、企業立案能力、コーディネーター能力、プレゼンテーション能力などをテーマに、レクチャーと参加者によるグループ討議で構成します。「グループ討議はワーキングショップ形式で実施します。」「答えが提供されるのではなく、受講者らが自分たちで考え、ベターと思える方法を見いだします。その際、対等に議論する」「他人の話を聞く」「他人が受け入れやすい表現を心がける」など、建設的な議論に必要となる要件を修得できる内容にします。

*以上の他にも、環境問題の入門講座、市民参画の感得など、様々なニーズにお応えします！

(講座で学ぶ基本的内容)

- ① 環境問題の全体像の理解と私たちの暮らしとの関係
- ② さまざまな地域的先進事例(市民活動に留意をもつ)
- ③ コーディネーター能力、企業の効果的な連携手法
- ④ 伝えるための手法
- ⑤ 企画立案の手順
- ⑥ 仲間づくりのためのノウハウ

対象：地域の環境市民活動リーダー層、またはそれをめざす人数：30～40人が望ましい人数です。

時間：ご予算に応じてお見積りさせていただきます。

費用：応相談(講師謝金、コーディネーター謝金、旅費等の別途経費および管理費)

時間：1回あたり3～7時間

この冊子の発行に際して、環境市民の協力を得ており、その協力に感謝いたします。

■日程と内容 ※会場は第2回以外は京エコロジーセンターで行います。

- 第1回**  5月17日(日) 10:00~17:00
子どもの心をつかむ環境教育の「いろは」
 ■ 講師:西村仁志氏(環境共育事務所カラス代表)
 環境教育リーダーにまず求められるのはプログラムを実践する力。「学びの場」を創りだすアイスブレイクの技法やプログラムづくりと実践のヒント・コツを体験を通して学びます。
- 第2回**  5月31日(日) 10:00~17:00
自然のなかで環境の豊かさを実感する・リーダーとしての意欲を高める
 ■ 講師:久山昌久雄氏(フィールドソサイエティ代表) ■ 会場:京都御苑 ←
 環境教育リーダーとして、自然への感受性を研ぎ澄ませ、関係を構築することは基本中の基本。京都御苑の豊かな自然の中で「センス・オブ・ワンダー」の楽しさ・大切さを実感してみましょう。
- 第3回**  6月14日(日) 10:00~17:00
環境教育の本質を知り、効果的な伝え方を身につける
 ■ 講師:澤田雄喜(京エコロジーセンター)、下村委津子(環境市民理事、ecoパーソナリティ)
 環境教育において「効果的に伝える」ということは最も重要なスキルです。そのための場づくりや話し方、伝え方の技術(How)を、なぜ環境教育が必要か(Why)、何を伝えるか(What)も踏まえて学びましょう。
- 第4回**  6月28日(日) 10:00~17:00
子どもはまちづくりの主人公 身近なまちを歩いてみよう!
 ■ 講師:下村委津子(環境市民理事、ecoパーソナリティ)
 私たちの住んでいるまちの中にもたくさんの環境教育の素材があります。まち歩きを体験しながらプログラムづくりのヒントを見つけましょう。
- 第5回**  7月12日(日) 10:00~17:00
買い物を変える 生活が変わる 社会も変わる
 ■ 講師:松本育生(環境市民代表理事)
 環境問題の主な原因には私たちのライフスタイルのあり方が大きく関わっています。そこで、身近な「買い物」に焦点を当て、商品の選び方から環境を考えるプログラムを体験しましょう。
- 第6回**  7月25日(土) 10:00~18:30・7月26日(日) 10:00~16:00
環境教育の現場に立つ
 ■ 講師:松本育生(環境市民代表理事)、下村委津子(環境市民理事、ecoパーソナリティ)
 これまでに得た視点・知識・経験をもとに、自ら環境教育プログラムを企画し実践してみましょう。実践を通して環境教育リーダーとして現場で活躍するためのスタートラインに立ちましょう。

注意 この回は会場が京エコロジーセンターではありません。

参加費	一般:6,000円 学生:3,000円(全6回分)
申し込み方法	下記の申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、京エコロジーセンターまでFAXか郵送でお申し込みください。またはメールか京エコロジーセンターHPの申込フォームに必要事項をご入力の上、お申し込みください。原則全回参加の講座ですが、ご事情がある場合、京エコロジーセンターまで、ご相談、お問い合わせください。
申し込み・お問い合わせ	京エコロジーセンター 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13 TEL…075(641)0911 FAX…075(641)0912 E-mail…lecture_hp@miyako-eco.jp

申し込み用紙	■お名前(ふりがな)		■活動団体・勤務先等		
	■住所 〒			■年齢	
	■電話		■FAX		■E-mail
	■志望動機(簡潔に)				

※この個人情報は、本講座の連絡・事務作業や、当センター事業の情報提供以外には使用しません。

現代の日本社会と環境NGOが必要としている

リーダーになろう!



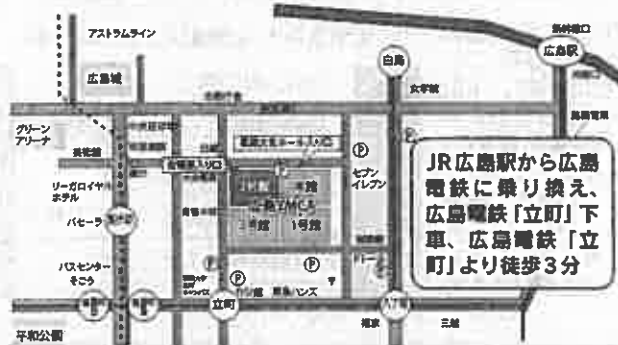
社会的影響力ある環境NGO・NPOには、何よりもリーダーシップが求められます。そのリーダーに必要とされる考え方の基盤、素養、知識、能力、技能を再発見し、熟慮し、実践への準備をするための講座です。

と き (全4回)...

- 第1回 **10/20 (土)** 午前9:30～午後5:00
- 第2回 **10/21 (日)** 午前9:30～午後5:00
- 第3回 **10/27 (土)** 午前9:30～午後5:00
- 第4回 **10/28 (日)** 午前9:30～午後3:30

ところ...

広島YMCA国際文化センター 3号館
(広島市中区八丁堀7-11)



JR広島駅から広島電鉄に乗り換え、広島電鉄「立町」下車、広島電鉄「立町」より徒歩3分



特 長...

- 1 第一線で活躍しているNGOのリーダーから直接学べる。
- 2 話を聴くだけでなく、ワークショップを組み合わせ、参加者や講師と議論しながら学べる。
- 3 枝葉末節の技術ではなく、社会的に信頼され、創造的な活動を可能にするリーダーシップの基盤を身につけられる。



対 象...

- ・環境NGO/NPO等でリーダーシップを求められている理事、職員、ボランティアの方
- ・環境NGO/NPO、ボランティア活動のリーダーをめざしている方
- ・環境分野に関連する活動をしているNGO/NPOでリーダーシップを求められている方
- ・原則全4回参加可能な方

定 員... 20人 (定員に達し次第締切)

参加費... 3,000円 (全回通し)

★地球環境基金とは……国内外の民間団体(NGO・NGO)が行う環境保全活動への資金の助成や人材育成、情報提供等の支援を行っています。

★環境市民とは……環境問題に対して総合的に活動できるNGOを目指して1992年に発足(本部:京都市)。持続可能で豊かな社会をめざし、ライフスタイルと社会システムを変えるため、自ら実践するとともに社会に提案し、さらに企業や行政に環境活動を促進させるように働きかける、幅広い活動を行っています。

★環境NGO・NPO レベルアップ研修とは……環境保全に関する専門知識、技術を習得し、次世代を担うリーダーを育成、レベルアップすることを目的に、2012年度は全国3か所で開催します。

< 主 催 >

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金
〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310
ミューザ川崎セントラルタワー8F
TEL 044-520-9505 URL: <http://www.erca.go.jp/jfge/>



< 企画・運営 >

NPO 法人環境市民
<http://www.kankyoshimin.org/>

< 協 力 >

広島連塾 Sus☆テラス、未来の子

< 後 援 >

環境省中国環境パートナーシップオフィス、ひろしまNPOセンター、広島県、広島市



講師プロフィール

第1回 10月20日(土) 午前9:30～午後5:00

講師 NPO 法人南信州おひさま進歩 理事・事務局長 原 亮弘氏
NPO 法人環境市民 代表理事 校本 育生

- Point!**
- ・リーダーに求められる明確な将来ビジョンとミッション
 - ・聴く力、伝える力
 - ・問題からの活動発想、課題からの活動発想

第2回 10月21日(日) 午前9:30～午後5:00

講師 社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事 早瀬 昇氏
NPO 法人環境市民 代表理事 校本 育生

- Point!**
- ・パラダイムシフトの重要性
 - ・自らの団体の影響力とコネクション
 - ・NGO 活動の評価の基軸

第3回 10月27日(土) 午前9:30～午後5:00

講師 NPO 法人サ・ピープル 理事長 吉田 恵美子氏
くらしを見つめる会 代表 内田 洋子氏
NPO 法人環境市民 代表理事 校本 育生

- Point!**
- ・時間と資源の使い方分析、自己管理と集中すべき事項
 - ・リーダーシップとマネジメントの考え方と方法
 - ・団体と活動の役割分担

第4回 10月28日(日) 午前9:30～午後3:30

講師 NPO 法人環境市民 代表理事 校本 育生

- Point!**
- ・個人と団体のビジョンとミッションを描く
ブラッシュアップと交流



原 亮弘氏

NPO 法人南信州おひさま進歩
理事・事務局長

2004年2月にNPO法人南信州おひさま進歩を設立し、事務局長に就任。寄付型市民協働発電所設置や環境学習活動を地域で展開する。その後、環境エネルギー政策研究所と協力して、同年12月に「おひさま進歩エネルギー有限会社(現在は株式会社)」を設立し、代表取締役就任。市民出資型メガワットソーラー設置活動や全国に波及しつつある「おひさま0円システム」に飯田市などと協働で取り組む。



早瀬 昇氏

社会福祉法人大阪ボランティア協会
常務理事

多くの自治体で行政とNPO/NGOの協働施策推進にも関わると、市民サイドからCSRの向上に取り組む。日本NPOセンター副代表理事、日本ボランティアコーディネーター協会副代表理事、「新しい公共推進会議」委員、「新しい公共支援事業」運営会議委員などを務める。



吉田 恵美子氏

NPO 法人サ・ピープル 理事長

古瀬のリサイクル活動、障がい者小規模作業所、タイ山岳民族に対する生活支援・教育支援活動やラオスの女性たちの自立に向けた技術支援活動を運営させて実施。また環境学習やボランティア体験の機会提供。未利用有用資源の回収再資源化するための仕組み「いわきエコポイント制」を組み立てるなど幅広く活動。2012年、サ・ピープルとして国際交流基金地球市民賞理事長特別賞受賞。



内田 洋子氏

くらしを見つめる会 代表

地球温暖化防止や環境問題の活動を市民の視点でわかりやすい活動として企画し、人材育成をしながら実施している。子どもたちの社会づくり体験イベント「土佐っ子タウン」のコーディネーター、環境首都創造NGO全国ネットワーク幹事、NPO法人日本NPOセンター理事、NPO法人NPO高知市民会常務理事長、NPO法人環境市民理事などを務める。



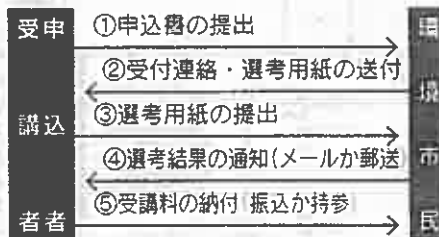
校本 育生

NPO 法人環境市民 代表理事

環境市民の設立を呼び掛け、1992年7月設立時から01年10月末まで事務局責任者を務める。その後、現在まで代表理事。日本で初のグリーンコンシューマーガイドを作成するなど、日本のグリーンコンシューマー活動を形作る(2004年環境大臣賞を受賞)。2001年から10年間にわたり多くのNPOとネットワークで「地域から持続可能な社会を創る日本の環境首都コンテスト」を実施。NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議理事、NPO法人KES環境機械理事、社会福祉法人大阪ボランティア協会評議員。

参加申し込み方法 参加希望者の(1)お名前、(2)(主な)所属団体、(3)連絡先住所、(4)日常的に連絡できる電話番号、(5)FAX番号、(6)E-mail、(7)志望動機(簡潔に)を添えて((2),(5),(6)がない場合は不要)、下記までお申込みください。メールの場合は、件名を「レベルアップ研修申込」としてください。(記載の個人情報は、受講に関するやりとり以外に使用することはありません)申込者には受講する所属団体のビジョン、ミッション、活動概要などをお伺いいたします。期限までにご提出ください。それをもとに受講者を選考し、結果を通知いたします。受講決定者には受講料を事前にお振り込みいただきます。なお、本研修は全4回の連続講座です。受講は原則全回参加できる方といたしますのでご了解ください。なお、中国地区の開催ですが、全国どこからでも申し込み可能です。

※申込みから受講決定までの手順



参加・
お問い合わせ先

特定非営利活動法人 環境市民 〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下る第二ふや町ビル 405号室
[TEL: 075-211-3521 FAX: 075-211-3531 E-mail: entry@kankyoshimin.org]

ふりがな ()	TEL	FAX
お名前	mail	
所属団体・勤務先(あれば)	ご住所 〒	
志望動機(簡潔に)		

環境市民 講師派遣メニュー

これ以外のテーマでも可能です。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



講師：

明致 親吾

本会専門アドバイザー、京都CSR推進協議会 会長

テーマ1	企業の社会的責任 (CSR) ～企業が社会に果たす役割～
対象	事業者(経営者・管理者・従業員) 行政職員 大学講師
CSRの持つ意味を解説し、企業が社会に果たす役割について事例を参考に考え、CSRへの取り組み方を検討します。さらに「企業は誰のものか？」について種々の考え方から、企業と関係先のあり方を考察します。	
テーマ2	信頼を築く経営～顧客・社員・地域社会との信頼の構築で持続的な経営を目指す～
対象	中堅・中小事業者(経営者・管理者) 行政職員 NPO 大学講師
CSRを「企業の社会的信頼」と捉えて、企業と顧客・社員・地域社会との関係や信頼を構築する方策を解説します。また、企業経営者にはCSRの考え方、あり方を伝え、持続的な経営のモデルを示します。	
テーマ3	経営の精神～オムロン(株)の創業者 立石一真の理念経営～
対象	事業者(経営者・管理者) 行政職員 NPO 大学講師
経営のよりどころとなる企業理念の重要性と、経営哲学、経営方針の必要性について、事例を交えて解説します。	
テーマ4	社会との信頼の構築～社会に必要とされる企業を求めて～
対象	事業者(経営者・管理者) NPO 大学講師
グローバルに存在する社会課題に対して、解決策の事業化や貢献など、社会との信頼を構築することで共生する企業、持続する企業について解説します。	
テーマ5	社員との信頼の構築～社員の働きがい・生きがいを企業の原動力に～
対象	事業者(経営者・管理者) NPO 大学講師
「人権」や「働きがい・生きがい」の視点から、重要な経営資源である社員との信頼を構築する方策を模索し、社員の生涯設計と企業の持続性を提示します。	



講師：

有川 真理子

本会コーディネーター

テーマ1	NPOの広報	講師 WS
対象	市民 NPO	
NPOにとって広報は活動と同様に重要です。資金やマンパワー不足に悩みがちなNPO活動の中で、どう広報力を高めていくか。各媒体の具体的な活用方法からプレスリリースの書き方、メディアとの関係構築、プロやボランティアの力を発揮する環境市民ならではの広報を伝えます。		
テーマ2	毎日の買いものが社会を変える！ グリーンコンシューマー	講師
対象	市民 NPO 行政職員 議員 事業者 大学講師	
エコロジカルなライフスタイルを実現する上で重要となる一つの要素が「毎日の買い物」。そのためには、買い物に行くお店、スーパーにエコロジカルな品物がなければなかなか実践できません。欧米各国の調査を通して得られたエコロジカルなスーパー、販売方法を写真を通して伝えます。		
テーマ3	オーストラリア エシカル&グリーンコンシューマー 調査報告	講師
対象	市民 NPO 行政職員 議員 事業者 大学講師	
2012年、Rio+20にて「持続可能な消費と生産のための10年計画」が採択されました。欧米各国では実現にむけた取り組みが進んでいます。2014年12月から3ヶ月にわたって、オーストラリアのNGO「Ethical Consumer Australia」にて研修、多数のNGOや消費者団体等に調査した事例や経験をもとに、NGOや自治体、企業がこの課題にどう取り組むことができるかをお伝えします。(研修は外務省主催：NGO海外スタディ・プログラムによる)		
テーマ4	グリーンウォッシュって何？ ～消費者の信頼を得るために～	講師 WS
対象	市民 NPO 行政職員 議員 事業者 大学講師	
持続可能な社会を構築するためには、消費者が、環境配慮製品を確実に選ぶとすることができるような状況でなければいけません。その決め手となるのが商品の表示です。その表示が消費者の誤解を招くような環境表示であった場合、「グリーンウォッシュ」になってしまいます。グリーンウォッシュとは何か、海外では通用しない日本の表示とは？		



講師：

植田和弘 本会理事、京都大学大学院、経済学研究科 教授

テーマ1	環境・エネルギー政策全般	講師
対象	市民 NPO 行政職員・議員 事業者 大学講師	
福島原発事故以降の原発・エネルギー政策、地球温暖化政策をめぐる動向と課題について学びます。		
テーマ2	グリーンコンシューマー	講師
対象	市民 NPO 行政職員・議員 事業者 大学講師	
誰でもいつからでも始められ一人からでも行動できるグリーンコンシューマー活動は、住民のライフスタイルを環境配慮型に変えて行く大きなきっかけをつくります。また、活動を深化させ地域の店舗調査に発展させることも可能です。住民の環境活動の推進とエンパワーメントが期待できます。グリーンコンシューマー活動のコンセプトや事例について学びます。		



講師：

上田正幸 本会理事、NPO法人京都・雨水の会 理事長

テーマ1	雨水活用による環境・都市問題解決について	講師 WS
対象	市民 NPO 行政職員・議員 事業者 大学講師 伊達子	
2014年3月に「水循環基本法」と「雨水利用促進法」が制定されました。都市や流域における水循環の構築は、水にまつわる災害が増加傾向にある現在、喫緊の課題です。その重要な手段となる雨水貯留・地下浸透・蒸発・蒸散のための課題から解決策まで学びます。		



講師：

風岡宗人 本会理事・チーフコーディネーター

テーマ1	環境問題・課題の分析から解決策の考案へ	講師 WS
対象	市民 NPO 大学(大学院)講師	
環境問題の解決や持続可能なまちづくりのために市民・住民の主体的活動は不可欠ですが、偏った考えや思い込みで活動を続ければ社会にインパクトを与えられる計画的活動は困難です。思いを大切に計画的活動づくりについて基礎から学びます。		
テーマ2	環境NGO/NPOの組織マネジメントについて	講師 WS
対象	市民 NPO 大学(大学院)講師	
強い組織づくりには活動の内容とともに、強い組織基盤が必要です。しかしともすれば活動が優先され、組織マネジメントにはあまり力が割かれません。認定NPO法人環境市民の事務局運営経験から、実践に基づいたノウハウを学びます。		



講師：

笹文彦 本会理事、龍谷大学工学部、環境ソリューション工学科 教授

テーマ1	環境水質改善	講師
対象	住民 行政職員	
水質の改善には、流入汚濁源を削減することが必要です。そのための農業排水対策やノンポイントソースへの対策への課題と解決策を琵琶湖での水質改善実践に基づき提示します。		
テーマ2	家庭ごみの処理	講師
対象	住民 行政職員	
家庭ごみの処理については、生ごみの処理が大きな課題となっています。生ごみは水分がほとんどで焼却には適しておらずバイオガスなどとして利用していくことが期待されています。その考え方、技術等について具体例を紹介しつつ学びます。		



講師：

木本育生 本会代表理事 グリーン購入ネットワーク顧問 KES環境機構理事

テーマ1	グリーン購入と経営の環境戦略	講師 WS
対象	事業者 大学教員	
グリーン購入とは何か、その目的、効果、取り組み方法と事例等を詳しく紹介します。企業によるグリーン購入が、環境貢献活動やCSR活動にとどまらない環境を大切にしたい経営戦略の基盤となることを提案します。		
テーマ2	地球温暖化 現状、影響、将来予測	講師 WS
対象	住民 NPO 行政職員 事業者 大学教員 中高生	
地球温暖化の現状、私たちの生活や経済活動への影響、将来の影響予測を、科学的予測をもとに豊富な写真、図、世界各地の事例を用いて分かりやすく解説。IPCC第5次評価報告書の内容もカバー。全国各地で市民、事業者、行政職員向け等で400回以上の講演実績。さらに対象別に具体的なかつ効果的な活動事例紹介も可能。		
テーマ3	環境クイズ～個人、家庭から取り組む地球温暖化防止	講師 WS
対象	市民 NPO 行政職員 事業者 中高生 <small>小学校4～6年生向けもあり</small>	
日常生活から排出される温室効果ガスの実態とその削減行動について、クイズ形式で学びます。参加者全員が回答者になるので、楽しく学べ、実際の行動にも結び付きやすくなります。「コマメ」な行動だけではない、取り組みやすく効果的な地球温暖化防止行動を具体的に紹介します。		
テーマ4	地域から持続可能で豊かな社会を創る7つのポイント	講師 WS
対象	市民 NPO 行政職員 事業者 大学教員 自治体首長・議員	
地域から持続可能で豊かな社会をつくるために重要な7つのポイントを提示。ポイントごとに豊富な国内事例を画像や図版を用いて紹介。環境のまちづくりや、持続可能な地域社会づくりに取り組む自治体やNPOに最適な内容。リクエストにより海外の地域事例も併せて紹介することも可能。		



講師：

下村 委津子 本会理事 グリーン購入ネットワーク理事 フリーランスアナウンサー ecoパーソナリティ

テーマ1	グリーン購入とは？～考え方と実践のヒント～	講師 WS
対象	事業者 大学教員	
グリーン購入とは何か、その目的、効果、取り組み方法と事例等を詳しく紹介します。環境担当部署だけのグリーン購入活動にとどまらないためのヒント、社員一人ひとりが主体者になるグリーン購入の展開方法を提案します。		
テーマ2	グリーンコンシューマー ～買い物で社会を変える、市民力を高める～	講師 WS
対象	住民 NPO 行政職員 中高生	
グリーンコンシューマー活動により、地球温暖化防止やごみ減量、省エネルギー等、社会課題の解決にどのような好影響を与えることができるのか、具体的な活動事例と取り組み方を紹介します。		
テーマ3	環境メディアリテラシー	講師 WS
対象	消費者 住民 事業者 大学教員 中高校生 小学校高学年	
CMや環境情報の表現は、メーカーや広告会社によってつくられています。それらがどのような考えに基づいて制作されているのか、他社と差別化できるインパクトある広告（CM）制作のためにメーカー側はどのような言葉や映像表現を使いたくなるのか、ワークショップで疑似体験します。また、そのことによって消費者はどのような印象をもつのか、広告（CM）を見るとき、消費者としてどのような視点（倫理、社会的公正、経済、環境）が必要なのかについての気づきをもたらします。		
テーマ4	伝える技術と話す技術	講師 WS
対象	住民 NPO ボランティア	
普段の活動や催事で参加者に関心を持ってもらうためにわかりやすく伝えたり、賛同者を増やすために魅力的に話したりするためにはどのような配慮や技術・コツが必要なのかを提示します。また催しの進行等をスムーズに行うために必要な技術を習得するための実習も経験します。		
テーマ5	まち歩きを活用した環境のまちづくり	講師 WS
対象	住民 NPO ボランティア	
環境のまちづくりに関わるための入り口としてのワークショップです。環境のまちづくりにへの課題抽出と解決の方法を見いだすための手法としてまち歩きをします。また、まち歩きの経験をマップづくりに活かすことで、「気づき、情報共有」などの経験を体験します。		



原田紀久子

本会理事、NPO法人アントレプレナーシップ開発センター 理事長

テーマ	課題解決に持続可能な事業で挑む	講師 WS
対象	市民 NPO 行政職員 事業者 小学生から大学生(プロジェクト学習等)	
環境問題の解決に持続可能な事業として取り組みたい方に対して、ビジネス運営の手法を用い、ターゲット顧客の設定、市場分析、広報戦略や収支計画などをいれた事業計画書と実施に向けた行動計画作成のお手伝いをします。		



早瀬 昇

本会理事、認定NPO法人日本NPOセンター 代表理事
社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事
NPO法人日本ファンドレイジング協会副代表理事
認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会理事

テーマ1	市民活動団体の運営	講師 WS
対象	市民 NPO 行政職員 事業者 大学講師	
団体の設立、事業計画の設計から、ボランティアとの協働などの参加型運営、寄付の促進などなどについて、解説します。		

テーマ2	ファンドレイジングの進め方	講師 WS
対象	住民 NPO 行政職員 事業者 大学講師	
市民団体の財政確立に向けて、市民団体の財政構造を踏まえた上で、寄付の安定的な獲得、キャンペーン型募金の方法、様々な先進事例の共有などを行います。なお講師は日本ファンドレイジング協会の認定講師であり、協会のルールに合致すると、協会認定研修として、認定ファンドレイザー取得のためのポイント付与の対象研修とすることができます。		

テーマ3	行政と市民活動との協働の進め方	講師 WS
対象	住民 NPO 行政職員 事業者 大学講師	
市民活動と行政の協働の進め方について、その意味、市民団体の特性をふまえた協働の進め方などを解説します。一定の研修時間を確保できる場合は、協働プログラム開発などのワークショップも盛り込むこともできます。		

テーマ4	企業市民活動の推進について	講師
対象	企業のCSR担当者 NPO	
社会貢献活動も含めCSR活動が広がってきた経緯、その実際、社員のボランティア支援の方法、Cause Related MarketingやCreating Social Valueなどの動きなどを解説します		

テーマ5	ボランティア活動の進め方	講師 WS
対象	住民 NPO 行政職員 企業の社員 大学講師	
ボランティア活動の意味、特性、仲間の増えるグループ運営の方法、リーダーシップのあり方などについて、ユーモアを交えながら解説します。		

テーマ6	市民活動に関する法人制度、税制度の解説	講師
対象	住民 NPO 行政職員 事業者 大学講師	
ボランティア活動の意味、特性、仲間の増えるグループ運営の方法、リーダーシップのあり方などについて、ユーモアを交えながら解説します。		



講師：

松田 直子

本会理事、株式会社Hibana 代表取締役、
京都ベレット町家ヒノコ 代表

テーマ	森のエネルギーシフト～火のある暮らしから地域での利活用まで～
対象	市民 NPO 行政職員 事業者 大学講師 中学生
木質バイオマスと地域(まち)づくり・文化、ベレット・ベレットストーブの普及啓発、薪・炭の利活用、木育、火育、火・木のある暮らし、NPO活動と起業などのテーマに関して、ご要望に応じて、その都度アレンジいたします。体験・ワークショップも可能です。子供向けには、紙芝居・ワークショップなどのプログラムも組み立てています。	

お問い合わせ：認定NPO法人 環境市民

TEL : 075-211-3521 FAX : 075-211-3531 E-mail : life@kankyoshimin.org

年度	平成24年/2012年		平成25年/2013年		平成26年/2014年		平成27年/2015年		
目標(実施率/件数)			10%/3,434件		15%/5,160件		25%/8,600件		
実績(実施率/件数)	7.44%/2,024件		7.27%/2,497件		9.1%/2,726件		ターゲット:企業団体・小学生からその家庭への普及		
ターゲット	実施施策	次年度への課題	実施施策	課題・気づきなど	実施計画(案)	課題と対策	実施計画	課題と対策	
保育園・幼稚園	エスベックにて苗配布	現状維持	エスベックにて苗配布	現状維持	エスベックにて苗配布	現状維持	エスベックにて苗配布		
小学校	①環境政策室:苗配布 ②出前授業:2校		①環境政策室:苗配布 ②出前授業:3校	×出来栄が悪い ×指導が行き届いていない ○先生が「ゴーヤ先生養成セミナー」に参加した学校の出来栄は良かった。	①得明、上農葛小をモデル校に 【学校での授業・生習監視・PTAとの連携】 ②4月頭に学校へ「①ゴーヤ先生授業」+「校舎へのみどりのカーテン実施のお願い」の発行&アドバイス・モデル校設定要(PTAとの連携) ③府「夏休み省エネチャレンジ」のチェック項目としてみどりのカーテンを入れてもらう。	○市内6校、市外6校の植え付け授業実施 児童から家庭に苗を持ち帰る事による実施率向上を図った ○植え付け用、家庭用苗配布 ×手直しが必要な学校があった ×指導が行き届いていない	①市内小学校でのみどりのカーテン実施を周知⇒児童の家庭用に苗を配布することによって実施率を上げる ②みどりのカーテン実施後に収穫した実を調理し、ゴーヤがおいしく・健康に良い食べ物だとイメージづける ③みどりのカーテンを実施する学校の担当教員へのセミナーまたは指導を徹底⇒みどりのカーテン成功の取組効果を体感することにより継続するサイクルをつくる		
中学校	①環境政策室:苗配布 ②出前授業:0校 ③学校訪問指導:0校		①環境政策室:苗配布 ②出前授業:0校 ③学校訪問指導:2校	×出来栄が悪い	①生徒美化委員会との連携 【育て方ガイドの配布・育て方アドバイス窓口の設置】	○市内1校、市外1校で植え付け授業実施 ○苗の配布 ×中学校での授業の実施数が少ない	①中学校美化委員会生徒向けの講習会実施(or地域公民館講習会への参加誘引) ②調理実習の食材に収穫したゴーヤを活用してもらう(ゴーヤの実は中学校で収穫したものor市内小学校で収穫したもの利用) ③みどりのカーテンを実施する学校の担当教員へのセミナーまたは指導を徹底⇒みどりのカーテン成功の取組効果を体感することにより継続するサイクルをつくる		
公共施設	①環境政策室:苗配布 86施設/93施設=92%		①環境政策室:苗配布 83施設/91施設=91%	×市本庁のみどりのカーテンが実施されない ×市の取り組みという認識が低い ×市職員のエコ意識が低い	①福知山市役所本庁での実施(エコ推進委員の活用) ②市職員向けの環境に関する研修会の実施 ③公共施設の実施率9割以上達成(植え付け推進)	×市本庁のみどりのカーテンが実施されない ×市の連携がうまく取れず動きにくい	①福知山市役所本庁での大きなみどりのカーテンを実施⇒みどりのカーテンを福知山市のシンボルとしてイメージ付ける ②市職員への取り組みへの参画・エコ意識を向上させるためセミナーを開催		
市主催講習会	市民会館大ホールにて開催: 120名参加		地域公民館10カ所にて実施 参加者数:184人	○全地域で苗が受け取れる体制としては重要	①公民館行事として計画していただくための要請文を1月末頃に発行	○7つの公民館でセミナーを開催 ○セミナー参加者家庭用苗の配布 ×若者の参加者が少ない	①地域公民館でのセミナーの継続⇒過去参加者に加え過去参加者の周りから新しくみどりのカーテンに参加してもらう		
一般世帯	折り込みチラシ(両丹)4/30 実施	現状維持	折り込みチラシ(両丹)4/30 実施	×新規実施世帯が少ない ×周知力がまだ低い	①両丹日新聞を使った折り込みチラシ ②広報ふくちやま4月号への特集ページ実施	○前年度より実施世帯数が増加した ×まだまだ周知が足りない	①セミナーの折り込みチラシ実施(両丹日) ②小学校授業の際に児童に家庭への連絡としてセミナー案内を配る		
市街地世帯	対策なし		対策なし	×市街地の実施率低い ×集合住宅での実施率低い	①集合住宅でもできるみどりのカーテン提案 ②市街地地域での講習会実施 ③ホームセンターとの連携(パザール・コーナンなどに打診)	○住宅街での近所で固まってる実施が多く見られた⇒×(良い面でも悪い面でもある) ×集合住宅での実施率が低い	①集合住宅でも出来るみどりのカーテン提案 ②市街地地域でのセミナーの実施 ③実施世帯を増やすため地域連携(市内保育園・小・中学校~各家庭、地域公民館)を図る		
商店街対策	・アオイ通り3丁目(レモンガラス)への苗配布	広小路をモデル商店街に(⇒アークド撤去のため次年度持越し)	・アオイ通り3丁目(レモンガラス)への苗配布	レモンガラス・広小路をモデル地区に	①広小路商店街・レモンガラス(アオイ通り3丁目)をモデル地区に ②老人向けのみどりのカーテンイベント検討 ③コーヤスイーツの開発	○商店街に苗の配布 ×実施数がまだ少ない	①商店街・観光施設でのみどりのカーテン実施を行い市民・観光客等へのイメージ付け ②駅前周辺での実施を増やす		
周辺地域世帯	対策なし		対策なし	△ゴーヤ=畑で育てるもの △みどりのカーテンをそだてなくても、山が家に近いので十分涼しい⇒ゴーヤ生産量確保として継続	①講習会実施(継続実施) ②コーヤ商品化への「実の安定した供給元として」活用	○地域公民館でのセミナー7件実施 ×周知不足 ×地域の連携不足	①地域公民館でのセミナーの継続 ②育てやすいみどりのカーテン(雨水を利用、自動灌水などの導入を提案)の提案		
企業・福祉施設					①長田野工業団地へのみどりのカーテン実施企業増加にむけてのお願い(講習会・苗配布) ②福祉施設へのみどりのカーテン普及(苗配布)	○企業3社セミナー実施⇒継続に繋がった ○企業での社員家庭用苗の配布 ×長田野工業団地内での実施が足りない	【企業団体へのよびかけ&苗配布&セミナー】 ①長田野工業団地内企業 ②商工会議所会員企業 ③企業団体等(ロータリーなど) ※上記に加え、企業社員の家庭でのみどりのカーテン実施呼びかけ(苗配布)		
自慢コンテスト・表彰制度	8件		17件	×応募者が少ない ×告知時期が悪い(4月末・9月に広報) ×審査基準が不明確	①団体部門(例:学校単位、自治会、PTA、商店街など)設定 ②より魅力的な賞品へ(企業などへの賞品の依頼) ③応募のための広報カードを8月頃に発行要		【自慢コンテスト】 ①団体部門(例:学校単位、自治会、PTA、商店街など)設定 ②より魅力的な賞品へ(企業などへの賞品の依頼) ③応募のための広報カードを8月頃に発行要 【環境会議(もしくは市)からの感謝状】 ①一定以上の家庭実施数を挙げた団体・企業などへ感謝状を贈る		
実施率調査(調査員人数)	一般市民数 14人 環境会議会員 25人 環境会議事務局 24人		一般市民数 28人 環境会議会員 39人 環境会議事務局 8人	○全体を把握する方法としては有効 ×かなりのスタッフの数と労力がかかる	①中学生生徒の活用 ②環境会議所属団体での調査協力要請 ③市職員ボランティア活用	○全体を把握する方法としては有効 ×かなりのスタッフの数と労力がかかる	①環境会議所属団体での調査協力要請 ②市職員ボランティア活用 ③事前の参加登録によるマップへの落とし込み		
コミュニティビジネスとして				○ゴーヤ茶の事業化要請(市民アイデア事業) ○ゴーヤ甘納豆売れ行き好調(ゴーヤ先生物販) ○ゴーヤつくだ煮売れ行き好調(住所朝市)	①ゴーヤ茶製造団体との調整 ②ゴーヤ茶試作 ③KTRイベントとの連携(11月頃)		①ゴーヤ先生商標利用無償化での地元産品のPRによる取り組みへの協働意識の向上 ②ゴーヤ茶製作に向けての調査・研究		
生ごみ堆肥PJとの連携	生ごみくりん導入	⇒家庭では使えない(婦人会の意見)	木箱を使った生ごみ堆肥化継続(SP液販売) アグミック(日本産)の導入	○生ごみPJとしても再活性化したい ○アグミック=パザールなどで売れ行き好調・気仙沼でも効果発揮	①木箱を使った堆肥化のマニュアル本作成 ②マニュアルを使って講習会実施 ③事業所食堂単位での堆肥化⇒成分分析		①木箱を使った堆肥化のマニュアル本作成 ②マニュアルを使って講習会実施 ③事業所食堂単位での堆肥化⇒成分分析		
「食べる」健康推進のためのアイテムとして				×出口戦略ができていない ×健康によいという広報が不十分	①ゴーヤを食べる事の健康増進活動(料理教室・レシピ開発) ②熱中症対策としてのみどりのカーテン活動 ③ゴーヤ料理コンテスト(都市ガス株式会社との連携)	○ゴーヤ茶を実践するセミナー参加者の増加 ×ゴーヤが苦手な人が多い ×健康に良いという情報の周知不足	①ゴーヤを食べる事の健康増進活動(料理教室・レシピ開発) ②熱中症対策としてのみどりのカーテン活動 ③ゴーヤ料理コンテスト(ガス会社との連携)		
エスベック 苗配布数	保育園	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	幼稚園		286		500		448		600
	商店街		0		50		4		100
	市民(社員)		350		400		280		500
	市民(一般)		287		700		297		500
	市内(企業・団体)		857		1400		247		2200
	市外(社員)		747		1000		441		500
	市外(一般)		194		450		184		500
	市外(企業・団体)		50		200		165		300
	合計		3323		3300		2934		4000
合計	6000	6094	8000	8000	5000	8100	4360	6000	
環境会議 苗配布数	小学校	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	中学校		293		326		400		400
	公共施設		236		270		300		300
	福祉施設向け		398		460		500		500
	市主催講習会		-		-		-		300
	その他市民		255		530		1200		1200
	環境会議合計		2458		1284		1300		1300
	環境会議合計	0	3640	0	2880	0	4000	0	2880
実績購入数		3640		2880		2880		2880	

平成27年度みどりのカーテン講習会日程表

開催日程	講習時間	開催場所	定員	申込連絡先
5/7 (木)	14:00～15:30	夜久野地域公民館	50	夜久野地域公民館 電話37-1188
5/10 (日)	10:00～11:30	川口地域公民館	35	川口地域公民館 電話33-3117
	14:00～15:30	日新地域公民館	50	日新地域公民館 電話27-6134
5/22 (金)	10:00～11:30	三和地域公民館	25	三和地域公民館 電話58-3334
5/23 (土)	10:00～11:30	市民交流プラザ	60	中央公民館 電話22-9551
	14:00～15:30	六人部地域公民館	50	六人部地域公民館 電話27-2006
5/24 (日)	10:00～11:30	大江地域公民館	50	大江地域公民館 電話56-0025
	14:00～15:30	成和地域公民館	50	成和地域公民館 電話23-6654
5/30 (土)	14:00～15:30	北陵地域公民館	30	北陵地域公民館 電話36-0543

※講習開始の30分前から受付を開始します。

主催：福知山市、福知山環境会議 共催：各地域公民館

2015年5月

月	火	水	木	金	土	日
		4月29日		4月30日	1	2
午前						こども大会
午後						
	4	5	6	7	8	9
午前		(ゴーヤ先生誕生日会)				9:30 川口(講師:水谷)
午後			13:30 夜久野(講師:土田)			13:30 日新(講師:水谷)
	11	12	13	14	15	16
午前	(5/10代休取得日)				(香川県講習会) 講師:土田	(香川県講習会) 講師:土田
午後						
	18	19	20	21	22	23
午前	(5/16長休取得日)	(井手町授業)講師:土田	(5/17代休取得日)		9:30 三和(講師:水谷)	9:30 中央公民館(講師:水谷)
午後			(土田前日移動)	(羽生市内小学校授業)	(PM:羽生市内小学校)	(埼玉:イオン羽生講習会) 13:30 成和(講師:水谷)
	25	26	27	28	29	30
午前	(5/23振休取得日)	(5/24 代休取得日)				
午後	(全社EM委員会)					13:30 北陵(講師:水谷) (ゴーヤ先生すみだイベント)